

地方創生関係交付金事業評価シート

	担当課名	産業支援室	事業No.	3				
事業名	藍住町内における阿波藍の復活に関する計画							
目的	藍染料の製造から藍染め製品の制作までの技術を習得させる人材育成拠点として「(仮称)勝瑞藍工房」を整備し、地域おこし協力隊制度を併用して藍に携わる人材を輩出し、藍関連産業の振興に取り組む。							
実施内容	藍染め普及支援として次の事業を実施。【地方創生拠点整備交付金事業】 1) 寝床整備 2) 藍染め工房整備 3) 当施設におけるすくも製造							
重要業績評価指標 (KPI)	指 標		開始前	2019	2020	2021	2022	2023
	すくもの生産量 (単位: kg)	目標	0	0	1,500	2,000	2,500	3,000
		実績		1,400				
	藍の作付面積 (単位: m ²)	目標	0	0	5,000	6,000	7,000	8,000
		実績		3,600				
	技術習得者数 (単位: 人)	目標	0	0	1	1	1	1
実績		0		0				
達成度	(A): 達成 B: 概ね達成 C: 未達成							

【事業費と財源内訳】

(単位: 円)

令和元年度	計画額	実績額	交付金充当額	備 考
事業費	15,000,000	14,082,328	7,041,164	事業費の1/2

【令和元年度の取組と課題】

○施設整備 寝床新築、染場改築については、R1.8月までに竣工した。別途整備した乾燥場と合わせて、藍こなし～発酵までのすくも製造の全工程ができるようになった。 ○すくも製造 施設整備と並行して藍栽培を開始し、完成間もない施設において製造に着手し、R1.12月に、半世紀ぶりに藍住町内産のすくもが完成した。

【今後の取組】

○施設整備 人材育成機能と観光・地域への波及効果を強化するため、R2年度に地域おこし協力隊駐在所・研修集会施設と駐車場を隣接地に整備する。 ○すくも製造 刈取機やカッター等の作業機械を整備しながら、引き続きすくもの製造を行う。 ○藍建て・藍染 藍住町内産のすくもを使って藍建て・藍染をし町内外に向けて阿波藍復活をPRしていく。
--

※藍住町地方創生推進会議の意見

○町内産のすくもができて順調に進んでいるが、地域おこし協力隊がもっと活躍できて、地域に溶け込むことが大切である。
--